第6学年 総合的な学習の時間 授業実践

1 単元名 「 避難所サバイバル 」

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
・地域における避難所の役割やそこで運営・生活する人の思い、課題について気づいている。	・避難所生活体験に必要なこと・ものを考え、より確実な情報を適切に選択し、分かったことを伝え合っている。 ・避難所生活体験を通してできた困り感や課題に対して、地域のために自分ができることを考えている。	・避難所生活体験に必要なことや自分たちにできることを進んで考え、友だちと協働しながら取り組もうとしている。

3 教材のとらえ

学習指導要領では、他者と協働して課題を解決しようとする学びや、地域の人々との関わりを通して、自分自身や社会の在り方を考えることが大切にされている。

本学習は、避難所生活体験において必要なことを、桜井地区の広域避難所運営委員会である自治会の方、防災対策課の職員、そしてそれを支えている防災用品の企業の方と関わりながら学ぶ。避難所運営でも、地域・小田原市・民間の三つの立場の方と関わることにより、地域には、自分たちの避難所生活を支えている人々がいることを実感することができるだろう。

実際に避難所生活を送ることになった場合には、限られた空間や物資の中で生活することや、年齢や立場の違う人々と共同生活を送ることが求められる。避難所生活を体験することで、「周囲の音が気になる」「ルールや声掛けが必要」など、資料や話しだけでは気づきにくい不便さや課題を実感し、「誰もが安心して過ごせる避難所にするためにどうすればよいか」という問いをもつことができるだろう。

また、災害時には、避難所にいる誰もが被災者であり、運営者でもあるからこそ、互いに支え合うことが大切だと気付き、地域社会の一員として自分たちにできることを考えるきっかけとなる。学習の最後には避難所生活体験会などの避難所のリアルを伝えるイベントを開催し、他学年や地域と関わり自信をつけてほしい。そして、 いつか南海トラフ地震など大きな災害が起きた時に、地域のために自分ができることを考え、進んで行動しようとする心を育んでいきたい。

本時では、子どもたちにとって「防寒対策の要でもある毛布を借りることができない」という事実の基、毛布なしで寒さをしのぐ方法を共有し、より適切な方法を話し合う。普段の生活で必須な物がない避難所の寒さ対策について、調べたり試したりした方法を出し合う姿を響き合い、避難者全員があたたかくなる方法を考える姿を高め合う姿とする。



4 本時の指導案

(1) 本時の目標

避難所生活における防寒対策について意見を伝え合い、避難してくる人全員がよりあたたかくなる方法を考えている。

【思考・判断・表現力等】(観察・発言・ワークシート)

(2) 本時の学習 (25時間目/60時間)

学習活動	教師の支援
1 本時の活動内容を確認する ●前回は、A さんの話を聞いたんだよね。 ・1411 人分の毛布が足りなくて低体温症になってしまう。 ・私たちで家族や地域の人を救えるかもしれない。 今日は何を話し合う? 毛布がなくても全員があたたかくなるためにはどうすればよいかな?	○本時の活動の目的意識を持てるようにする。
2 自分が有効であると考えた防寒対策を伝え合う。 ・学校のカーテンをとって毛布の代わりにするのはどう? ・毛布をあと 1411 枚購入するとなると、50万円もかかるよ ・ポリ袋を被ると温かかったよ。防風効果が高く内側にこもった熱を逃がさないんだよ。 ・お腹や胸に新聞紙を巻き、その上からラップを巻くと体温が逃げなかったよ。 ・アルミブランケットをもってきたよ。 ・3つの首を温めると体感温度が3~4度も上がるんだって。 ・スクワットやバービージャンプをすると体が温まったよ。	○前時に出てきた「作る」「学校のものを借りる」「備蓄を増やす」「防災リュックに入れて持参」の4つに分類していくことで、防寒対策をより多角的に考えることができるようにする。 【響き合い】 毛布を使わない防寒対策の工夫について考えを広げる姿 ○出てくる方法の中には、条件を満たしていない方法ができることもあるだろう。「でも」といった批判的な意見も尊重し、デメリットも踏まえた話し合いを目指す。
3 出ていた意見を踏まえて、避難してくる人全員があたたかくなるかを考える ・備蓄を増やすのは私たちではお金もないし難しいよ。 ・運動をすると汗をかいてしまうよ。 ・エコノミークラス症候群も防げるし、運動はいいかも。 ・夜はみんな静かに寝たいだろうし、ずっと動くわけにもいかないよ。一番寒いのは夜だからね。 ⇒いつでもあたたかいのが大切なんだね ・熱を逃がさないという言葉が多いね。 ⇒体の熱を逃がさない方法がよい! ・床からの冷えを防ぐ方法もよさそう	**【思考・判断・表現力等】** 避難所生活における防寒対策について意見を伝え合い、避難してくる人全員がよりあたたかくなる方法を考えている。(発言・観察・ワークシート) 【高め合い】 出ていた意見を踏まえて、避難してくる人全員があたたかくなるかを考える姿
4 次の時間の活動を決め、振り返りを書く ・次回はどの方法がいつでも体の熱を逃がさず温かくなるのか試してみたいな	○次の時間への見通しが持てるようにする。